

2015年1月5日

昭和電線ホールディングス株式会社

新年明けましておめでとうございます。

昨年1年を振り返ってみますと、経済面では、消費税増税の影響も含めて個人消費や設備投資が低迷した状況が継続する中、資材の高騰や人員不足などの影響で国内建設工事件数の入札不調が相次ぐなど大変厳しい事業環境で推移しました。

このようにめまぐるしく変化する事業環境下でも、それに適応すべく諸施策を実施して利益創出に繋げていかなければなりません。

そのために、事業環境の変化にあわせて皆さんの考動パターンを如何に変えて行くかが当社グループにとって最も重要な課題です。具体的な取組みを通じて業務変革を確実に実行する年にしなくてはなりません。

中期経営計画の2年目を迎える今年特に注力していく点として3点挙げたいと思います。

1点目はグループ営業力の更なる強化です。皆様の努力により昨年も一定の成果を上げられたと感じていますが、未だ充分とは言えません。

2点目は当社グループのもつ製品・技術の強みを大いに発揮することです。

当社グループの持つ製品や技術の強みはあります。伸ばすべき分野に資源を投入して確実に受注に結び付けていきましょう。

3点目は海外事業の採算改善です。それぞれの現法で昨年も改善はみられたものの未だ不十分な事業もあります。将来の海外事業の拡大のためにも現在行っている海外事業の業績を確固たるものにしていきたいと考えています。

今年も事業環境は刻々と変化すると思います。その環境変化に合わせて当社グループの体質も変えていかなければなりません。今までと同じことをやっていると事業面でも成果は得られないということを肝に銘じ、今年を体質改善できるチャンスOfYearと捉え皆さんと共に積極的に前に進んでいきたいと思っています。

昭和電線ホールディングス株式会社

取締役社長 相原 雅憲

この件に関するお問合せ先

経営企画部 IR・広報グループ 舘山 雄一 TEL 03-5404-6951